

市大病院情報誌



そよ風

Smile! / Service! / Science! 笑顔の大学病院を目指しています



Contents

2017年11月  
第30号

- ▶ 日本適合性認定協会の臨床検査室認定 (ISO15189) を取得しました!
- ▶ 本院では病院1階に入退院支援センターを開設しています
- ▶ 皮膚と金属の意外な関係
- ▶ 塩化ラジウムによる去勢抵抗性前立腺がん骨転移治療について
- ▶ 脊椎脊髄手術における最新の術中支援装置の導入
- ▶ 院内イベント情報
- ▶ そよ風 第30号を迎えて
- ▶ 認定看護師の活動について



診療科紹介 リハビリテーション科

日本適合性認定協会の臨床検査室認定 (ISO15189) を取得しました!

本院の中央臨床検査部・輸血部・病理部・感染制御部の臨床検査室は、平成29年8月17日にISO15189の認定施設として登録されました。ISO15189とは、臨床検査の品質と



(左から) 中央臨床検査部 藤岡保健主幹、山下保健副主幹、平川病院長、日野部長

能力を保証する国際規格であり、検査精度の高い正確な結果を提供する能力を有する施設が認定されます。認定施設の検査結果は国際的に認められた仕組みに基づき運営され、検査結果に対する信頼性が向上します。臨床検査室は、これからも基本方針である「診療、教育、研究を遂行し、迅速かつ正確な検査成績を提供する」をもとにISO15189の要求事項を遵守し、安心して良質な検査を受けて頂けるよう患者さまへのサービスの向上に努めてまいります。



本院では病院1階に入退院支援センターを開設しています

入退院支援センターでは、患者さまがご入院される前から、患者さまの不安を取り除き、安心して医療を受けられるようにすることを目的に入院オリエンテーションを行っております。オリエンテーションの内容は、患者さまの治療内容や療養生活について、お薬の服薬指導、患者さまの背景の把握、また医療費控除や社会保険といった社会資源の利用のご案内などです。看護師・医療ソーシャルワーカー・薬剤師・事務職員がそれぞれ詳しくご説明させていただきます。

入退院支援センターは患者さまを主体として、入院から退院まで一貫した支援を提供するよう努力してまいります。入院にあたってご不明・ご不安な点があれば、ぜひご相談ください。

(現在、入退院支援は一部の診療科で行っておりますが、順番に診療科を増やしてまいります。)



病院1階東側に開設



入退院支援センターのスタッフ (多職種)



## 皮膚と金属の意外な関係



—あなたの歯に、金属は入っていますか？

小さい頃に虫歯になった方は、いわゆる“銀歯”が入っている方は少なからずおられることでしょう。その金属が私たちの皮膚に影響を及ぼしたり、アレルギーを引き起こすことがあることをご存知でしょうか？

金属アレルギーは「接触型」と「全身型」に分類されます。接触型は、時計やネックレスなどの金属アレルギーと接触する部分に起こる皮膚炎のことで、一般的に「金属かぶれ」といわれています。歯科用金属によって口の中の粘膜や歯茎が荒れることもあります。一方、全身型は、食品中や歯科用金属に含まれる微量金属が口の粘膜や腸から吸収され、アレルギー反応が起こることで、金属に接していない全身に症状をきたします。難治性の湿疹や掌蹠膿疱症(しょうせきのうほうしょう)という病気の原因となることもあります。

金属アレルギーを調べるための検査として、当科ではパッチテストを行なっています。種々の金属試薬を背中に貼って反応をみます。2014年から、金属アレルギーの診断がつけば、金属材料が含まれていないCAD/CAM冠という差し歯を保険診療で使えるようになりました(一定の条件を満たすことが必要です)。こういった背景もあり、最近では歯科からの検査依頼が増えています。治りにくい湿疹がある方や、金属アレルギーが疑われる方は、当科へご相談下さい。

(皮膚科)



金属アレルギーのパッチテスト

## 塩化ラジウムによる 去勢抵抗性前立腺がん骨転移治療について

塩化ラジウム(Ra-223)による前立腺がんの骨転移に対する治療が、我が国では2016年6月に保険承認され、当院でも2017年1月から治療が始まりました。塩化ラジウムは $\alpha$ 線(アルファ線)と呼ばれる放射線を放出する世界初の放射性医薬品で、安全に、かつ優れた抗腫瘍効果を発揮します。

1. 塩化ラジウムはカルシウムと働きがよく似ています。前立腺がんの骨転移では、カルシウムの代謝が異常に高まるという特徴があるので、それを利用して治療をします。

2.  $\alpha$ 線はがん細胞に対しては十分届く射程ですが、それ以外には届かないので骨転移以外の骨髄や他の臓器への影響を抑えることが可能です。

治療方法は、患者さまの体重に応じた塩化ラジウム注射液の静脈投与を4週間毎、計6回行います。

現在、塩化ラジウムは前立腺がんの骨転移治療に対してのみ使用されておりますが、被曝を最小限にするための注意点を、患者さま・御家族に向けてしっかりと説明した上で、治療計画の立案と実際の投与治療を行っています。

(核医学)



塩化ラジウム治療運営スタッフ



# 脊椎脊髄手術における最新の術中支援装置の導入 ～O-アームナビゲーションシステム～

術中支援装置とは、手術を安全かつ正確に行うために手術中に用いる装置のことです。われわれ脳神経外科領域では、①術中CT・MRI、②手術ナビゲーション、③術中蛍光診断、④術中神経機能モニターなどがあります。

今回導入されたO-アームナビゲーションシステムとは、術中CT画像と手術ナビゲーションシステムが直接連動する装置です。手術ナビゲーションとは、手術中にどこを触っているのかを知らせる装置のことです。皆さんが普段使用しているカーナビゲーションや地図アプリのGPSと原則的には同じようなものです。つまり、赤外線センサー＝人工衛星、手術器具＝車・人物、CT・MRI＝地図のような関係です。しかし、これまでの脊椎手術では術前に撮影したCTを地図にしていたため、CT撮影時と手術中の体位が異なることで、わずかな（たとえ数mmでも）ズレが生じることが問題でした。この問題を克服するために、術中CTを地図にするO-アームナビゲーションシステムが開発され、当院も本年2月から使用が可能となり、より安全で正確な脊椎脊髄手術を提供できるようになっています。このような最新機器を使用しながら、今後も安全な手術を行うよう取り組んでまいります。  
(脳神経外科)



O-アームナビゲーションシステム

## O-Arm Navigation System

## 院内イベント情報

### お正月グッズ作り

ワークショップ  
はりねずみ

平成29年11月30日(木)  
13:00～15:00  
病院18階第4会議室

### 第66回院内コンサート

演奏：大阪府警察音楽隊

平成29年12月8日(金)  
16:15～17:00  
病院1階初診受付前

### クリスマスコンサート

演奏：本学医学部  
オーケストラ部

平成29年12月22日(金)  
17:00～17:45  
病院5階講堂

### 第67回院内コンサート

演奏：相愛大学

平成30年1月18日(木)  
15:45～16:30  
病院5階講堂



詳しくは、ホームページをご覧ください  
<http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/pac/event.shtml>  
ホーム > 相談窓口 > 患者総合支援センター > 院内イベント情報

## そよ風 第30号を迎えて

### 担当者よりご挨拶

今回で第30号を迎えた「そよ風」は、2006年の創刊号発行からなんと今年で11年目。「患者さまのためになる情報を発信したい」という思いから、長きにわたり皆さまにご愛読いただき、ここまで続けることができました。この場をお借りして代表してお礼申し上げます。今後も様々な情報を発信してまいりますので、診察の待ち時間や入院中、ふとした時に本誌を手にとっていただき、少しでも当院のこと、治療のことなど知っていただければ幸いです。では、最後のページまでごゆっくりご覧くださいませ。



# シリーズ 診療科紹介 リハビリテーション科

## ～日常への橋渡し～

リハビリテーション科は、患者さまの状態を病院という非日常から自宅・社会という日常へと橋渡しする診療科になります。医学・社会両面から総合的に診断し、最適な日常というゴールを設定するリハビリ医、そしてそのゴールに向けて訓練を行う療法士、二つの職種のチームプレイで診療を行っています。

現在、当院リハビリテーション科には、リハビリ医としてリハビリテーション科専門医1名・他科兼任の前期研究医2名の計3名、療法士は理学・作業・言語合わせて18名が在籍しています。1000床規模の病院としては少人数ではありませんが、足りない部分は知恵と工夫でやりくりして、日夜業務に励んでいます。当院の性格上、現在は急性期リハビリテーションが主体となっていますが、回復期・維持期リハビリテーション病院との連携も整備されつつあり、連続性のあるリハビリテーションの提供を中長期の目標としています。

リハビリテーションは、リハビリ医師と療法士で完結するものではありません。主科主治医、病棟看護師、医療ソーシャルワーカー、栄養士、薬剤師など、その患者さまに関わる職種すべてがチームメンバーです。離床が進まないあるいは退院の目処がつかないなど、お悩みの患者さまがいらっしゃれば、当科までお気軽にご相談ください。



療法室でのリハビリテーション

### シリーズ 第6回

## ～認定看護師の活動について～

当院では、専門的な知識と視点を持つ認定看護師・専門看護師が協力しながら対応・活動しています。

手術室では、安全な手術を行うために、医師、看護師、臨床工学技士、薬剤師とチーム連携しながら患者さまをサポートしています。

手術看護認定看護師として、手術室内でのみ患者さまに関わるのではなく、術前・術後訪問を通して、病棟でも患者さまと関わることを大切にしています。患者さまのご希望があれば、いつでも術前訪問に伺い、説明させていただきますので、入院時に病棟看護師にお申し付けください。

手術看護認定看護師 足立麻礼



手術室入口



手術室内

新生児集中治療室（NICU）で、予定日より早く生まれた新生児や重篤な病気を持って生まれた新生児の病状の変化を予測し、全身状態の安定とともに発達を促すケアを提供しています。そして、戸惑いや不安を抱えているご家族に寄り添い、新生児の成長を見守りながら円滑な親子関係を育むことができるよう支援しています。

また、新生児に優しい看護が提供できるよう講習会の開催やスタッフへの教育・指導にも携わっています。

新生児集中ケア認定看護師 岩崎初美



新生児集中治療室（NICU）



講習会

認定看護師とは、公益社団法人日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいいます。  
※公益社団法人日本看護協会ホームページから引用 <http://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/cn>

発行／大阪市立大学医学部附属病院

<http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/>

所在地：〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号  
電話：(06)6645-2121 (代表)

初診受付時間：午前9時～午前10時30分  
休診日：土・日・祝日、12月29日～1月3日